

みどりの食料システム基盤農業技術のアジアモンスーン地域応用促進事業

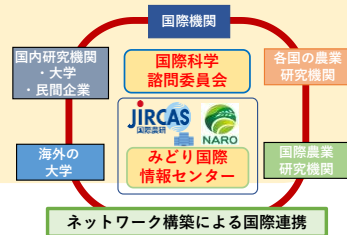
(令和4年度～7年度)

○気候変動緩和と持続的農業の実現に資する技術の実装を促進するため、アジアモンスーン地域で共有できる技術の発信や、国立研究開発法人の国際的ネットワークを活用した各地での応用のための共同研究を実施。

1. 「みどり戦略」に資する国際連携の体制整備と情報発信

みどりの食料システム国際情報センターの設置

国際農林水産業研究センター（国際農研：JIRCAS）内に担当部局を設置。



国際科学諮問委員会の開催

事業の方向性等について助言を受けるため、著名な研究者やアジアモンスーン地域各国の研究機関の長などを委員とした国際科学諮問委員会を開催。



国際科学諮問委員会の模様

技術の収集・分析・発信

アジアモンスーン地域で共有できる基盤農業技術の情報を「カタログ」形式等で発信。



みどりの食料システム国際情報センターWebサイト



アジアモンスーン地域向け技術カタログ



2. ネットワークを活用した共同研究による基盤農業技術の応用促進

水田からの温室効果ガス排出削減技術の適用地拡大



バンラデッシュでの圃場試験の様子

- 技術：AWD（間断かんがい）を活用したイネ栽培管理技術
- 効果：水田からのGHG排出削減
- 活動：各国の栽培慣行に応じた最適な水管理方法の策定
- 対象地：ベトナム、インドネシア、タイ、バンラデッシュ

生物的硝化抑制（BNI）強化コムギの栽培実証

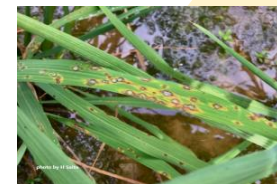
- 技術：BNI強化コムギ品種
- 効果：窒素施肥量の軽減とGHG排出削減
- 活動：各地での栽培に適した条件の特定、栽培技術の提案
- 対象地：ネパール



ネパールでの圃場試験の様子

※BNI：植物自身が根から物質を分泌し、硝化（微生物がアンモニ態窒素を硝酸態窒素へと酸化する過程）を抑制すること。

イネいもち病判別システムを活用した農薬低減の実証



いもち病に感染したイネ

- 技術：イネいもち病の判別システム
- 効果：いもち病抵抗性品種の適正利用により化学農薬使用量を低減
- 活動：各国での減農薬効果の把握、品種選定等の手順の提案
- 対象地：バンラデッシュ、ベトナム

アジアモンスーン地域での気候変動緩和と持続的農業の実現に資する技術の実装を促進